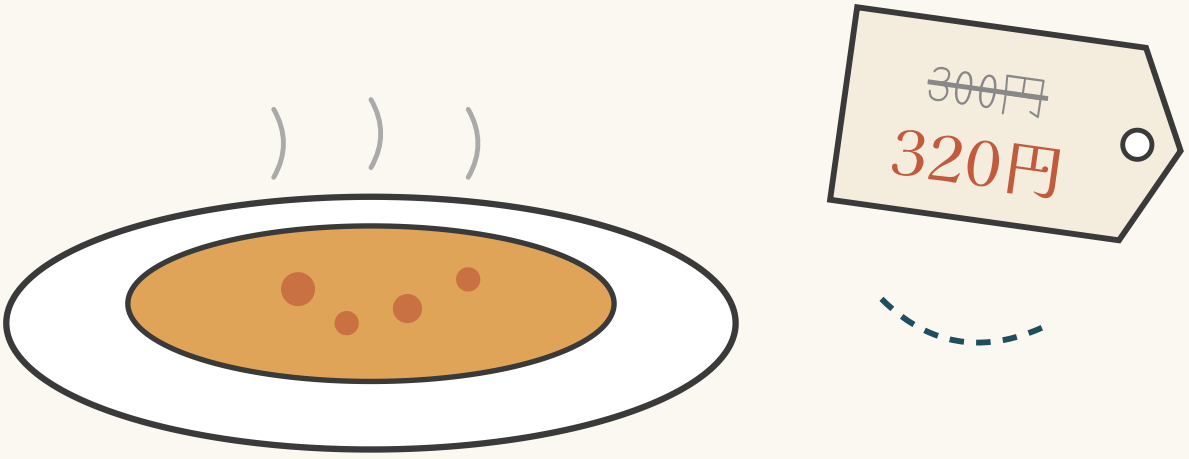
小売の勝ち負け

サイゼが値上げした日

外食は勝ち、家電は負け。小売の明暗を分けるもの

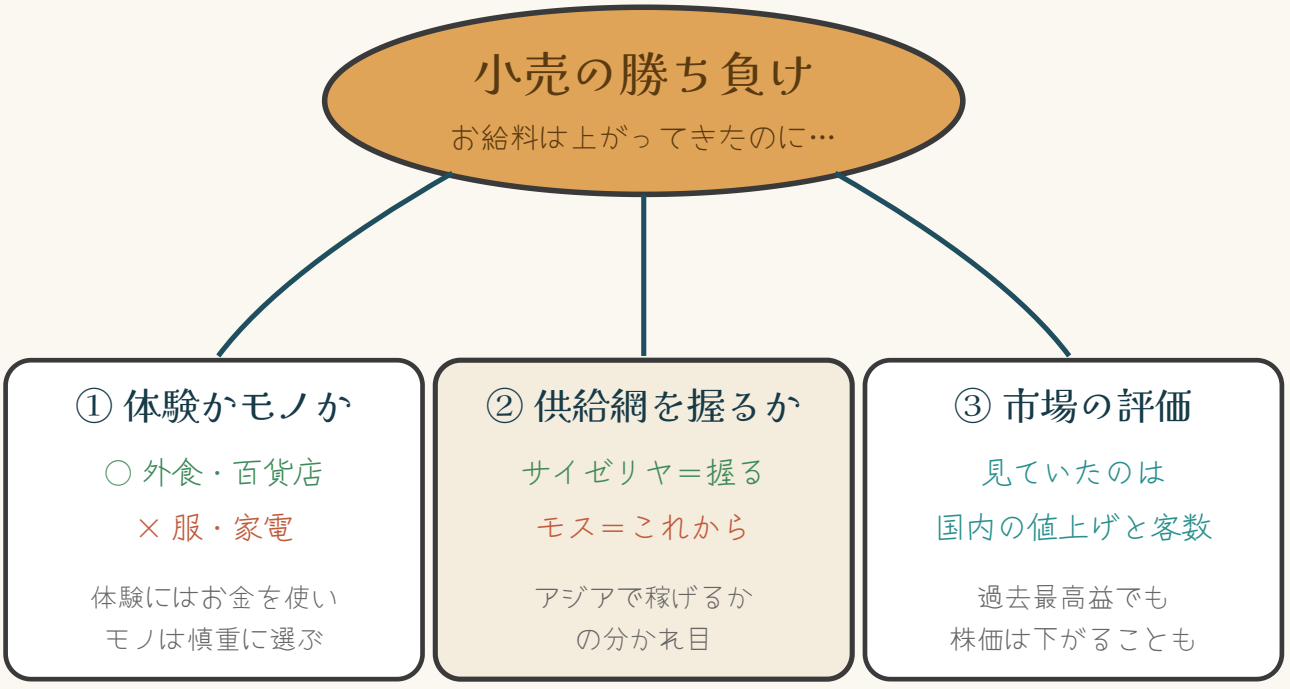


それでも、お客さんは来る？

今日の見取り図

この1枚だけ覚えて帰る

同じ「小売」でも、いま**勝ち負け**がはっきり分かれています。
分かれ目は**2つ**。そして、市場の評価はまた**別の話**です。



AIの外側でも、身近な数字を追うと
景気の手触りが見えてくる

パート1　前提

サイゼリヤ、約6年ぶりの値上げ

「値上げしない外食」の代表が、10月29日からメニュー全体で**平均6%**の値上げ。ただし、お店に来るきっかけになる商品は守っています。

上がった	据え置き	下がった！
ミラノ風ドリア	ランチ・モーニング	生ビール
300→320円	ワイン	400→390円

業績が悪くて上げたわけではない

売上　約3,014億円（初の3,000億円台）

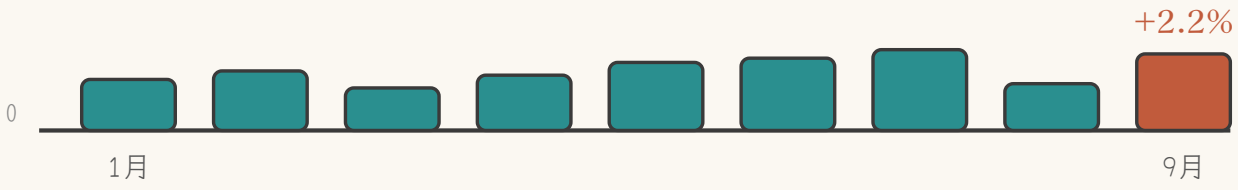
今期は営業利益29.1%増の計画

- サイゼリヤ（7581）は「価格を維持する」方針を、「状況に応じて変える」に改めました
- 全メニューの約8割が10〜100円の値上げ、都市部などの24店舗は平均10%
- 好調なうちに、原材料やエネルギーのコスト上昇を価格に反映

パート2　ひとつ目のヤマ

それでもお客さんが来る理由

答えは**お給料**。物価を差し引いた実質賃金が、9月は**2.2%のプラス**で9か月連続です。



9か月連続でプラス（8か月以上続くのは約10年ぶり）※棒の高さはイメージ

値上げで稼ぐ店

すかいらーくHD（3197）

+4.6%

8月の既存店売上

客数ほぼ横ばい・客単価で伸ばす

人を集めて稼ぐ店

サイゼリヤ（7581）

+10.9%

8月の既存店売上

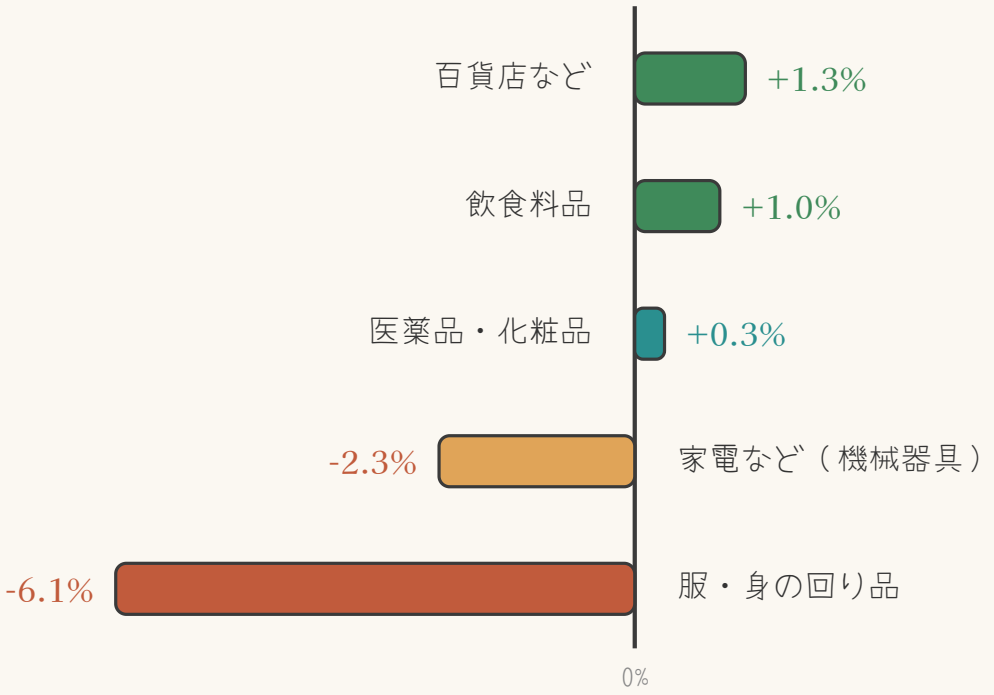
お客さんの数そのものが増える

外食業界全体でも、売上は**50か月以上連続**で前年を上回っています（日本フードサービス協会）。

パート3　中身の具体

小売の勝ち負けは「体験かモノか」

8月の業種別の売上（前年同月比、経済産業省 商業動態統計）。
外に出てお金を使う業態が強く、**服と家電**が弱い。



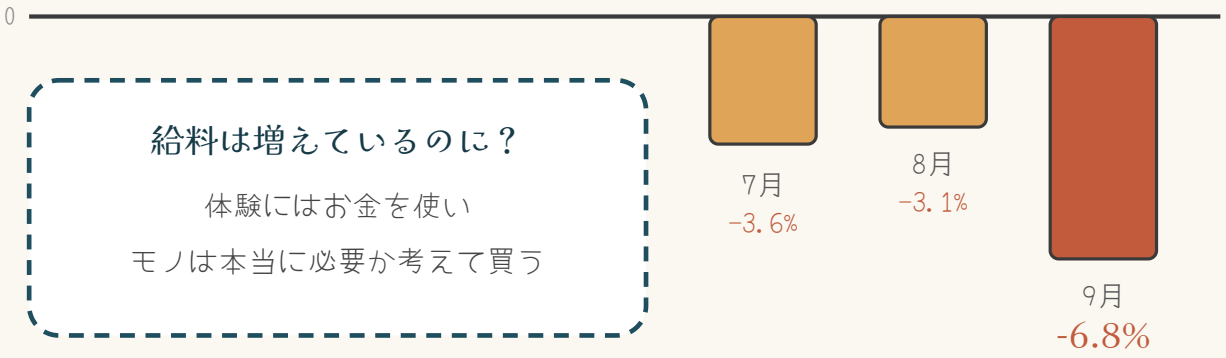
※棒の長さは数字に合わせた目安

- 百貨店の免税売上は9月に25.3%増、訪日客1人あたり約10万1,000円（18.3%増）
- スーパーは売上1.0%増でも既存店は0.1%増。値上げ分しか伸びていない
- 阪急阪神百貨店（親会社エイチ・ツー・オー リテイリング 8242）は阪神優勝セールで10月好調

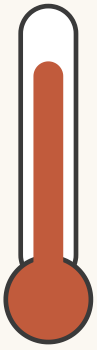
パート3　正直な弱点

財布のひもは、まだ固い

家計調査の実質消費支出は、去年12月から**10か月連続**のマイナス。
今朝発表の9月分は**6.8%減**で、予想の3.0%減より大きく落ち込みました。



2人以上の世帯・前年同月比



10月は観測史上2番目の暖かさ

大阪で観測史上もっとも遅い真夏日 → 冬物が売れない

国内ユニクロ（ファーストリテイリング 9983）

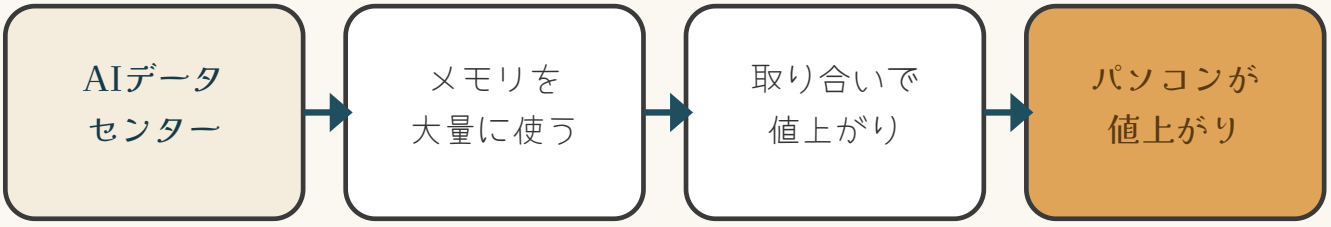
9月 +10.8%　　→　　10月 -5.5%

服の売れ行きは、景気よりも**天気**で月ごとに大きく振れます。

パート4　ふたつ目のヤマ

家電が弱い本当の理由、ここでAI

AIの好景気が、家電売り場には**逆風**になっている。ちょっと皮肉な話です。



「パソコンは待てば安くなる」時代は終わったのか、という見出しも

もう1つの理由　エアコンの駆け込みと反動



大手5社　ヤマダHD（9831）・ビックカメラ（3048）・エディオン（2730）・ケーズHD（8282）・Joshin（8173）
ヤマダとエディオンは6月に**経営統合の基本合意**。予定どおりなら2027年10月に売上約2.5兆円のグループに。

パート5　今日の本題

同じアジア展開でも、明暗が分かれる

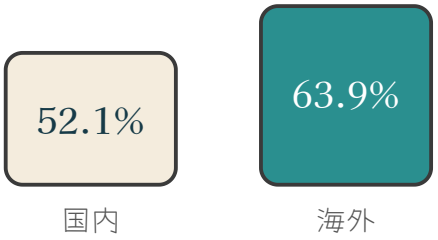
どちらもアジアで人気の日本のチェーン。違いは**供給網（サプライチェーン）**を自分で握っているかどうか。

サイゼリヤ（7581）

海外 695店舗（全体の約4割）

国内より店の少ないアジアが
国内より多く稼ぐ

今期計画の粗利益率



世界規模の生産・供給の仕組みを自社で

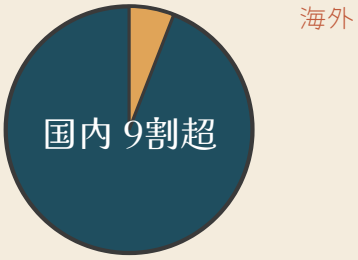
※中国は既存店が苦戦、上海の営業益22.3%減

モスフードサービス（8153）

海外 約410店舗（台湾・香港など）

海外事業の利益率は約2%
利益の9割以上は国内

利益の出どころ



「日本の味・手作り」が海外ではコストに

→ 2026年6月に台湾で新工場が稼働

半導体の回で話した「**ツルハシ（道具・供給網）を持つ者が強い**」は、ドリアやハンバーガーにも当てはまります。

パート6　広がり

同じ物差しで、ほかの会社も見てみる

海外で稼ぐ型、立て直し中、海外は店の数止まり。
外食・小売の会社は、大きく3つのタイプに分かれます。

海外で稼ぐ型

FOOD & LIFE COMPANIES（3563）　海外の営業利益275億円 ＞ 国内202億円

良品計画（7453）　生産の内製化で、東アジアの利益率が20%超

立て直し中

トリドールHD（3397）　海外の事業利益62.6%増、不採算58店を閉鎖・英国撤退

店を減らしながら利益を増やせるかが見どころ

海外は店の数止まり（モス型）

力の源HD（3561、一風堂）・壱番屋（7630、ココイチ）

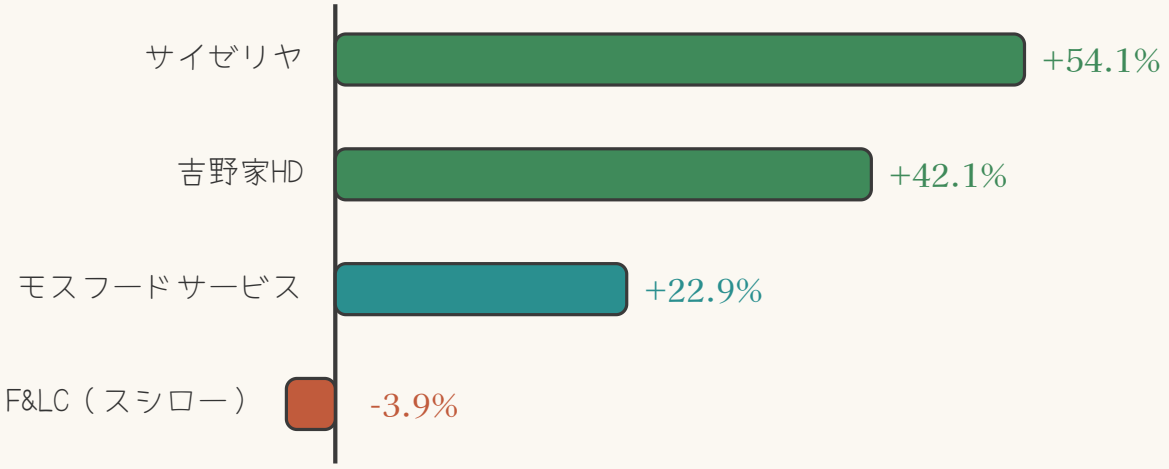
海外に多くの店を持つが、コスト上昇で利益は苦戦

外食の会社は、東証の業種分類では「飲食業」ではなく「小売業」。ところがモスフードサービスだけは「卸売業」です。

パート6　市場の反応

過去最高益でも、株価は下がる

6月1日→11月6日の株価。海外で一番稼ぐスシローの会社が、**唯一のマイナス**でした。



※F&LCは7月1日の1株→2株分割を調整済み

11月6日、スシローの会社は1日で14.7%下落

今期の純利益見通し390億円（10.2%増）が、予想の平均409億円に届かず

前期は54.2%増 → 「成長が減速する」と受け止められた

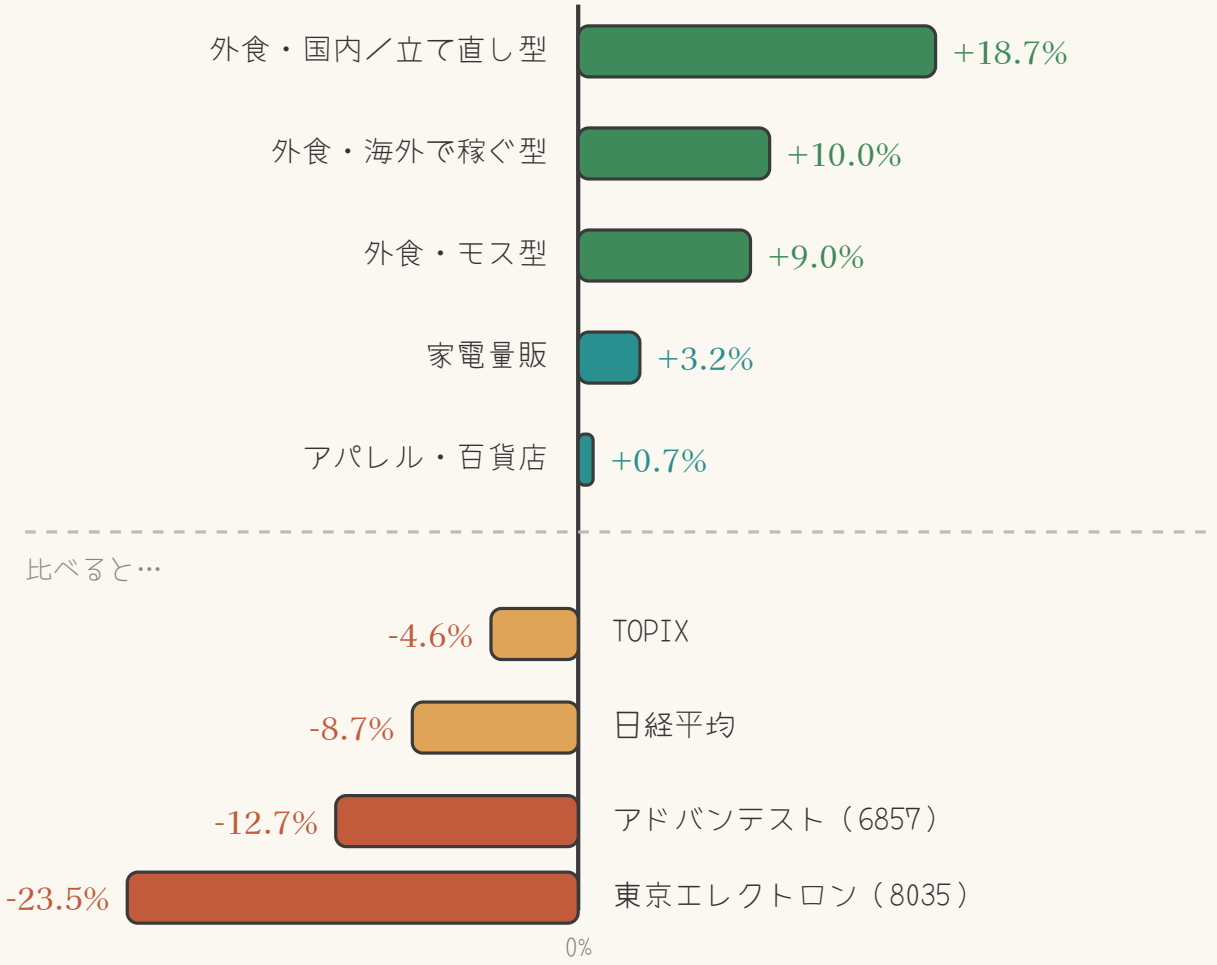
株価は利益の30倍超という高い期待を織り込んでいた

市場がこの半年で見ていたのは、海外の稼ぎより**「国内で値上げが通るか、お客さんが戻るか」**。物差しが正しくても、市場がいつ評価するかは別の問題です。

データ編

外食・小売株の騰落率　7月31日→11月9日

半導体株が崩れた7月以降、業績の良い内需株にお金が向かったのか。
グループごとの平均騰落率で比べると、**外食が相場全体を大きく上回り**ました。



グループ平均は各銘柄の騰落率の単純平均。東京エレクトロンは7月31日後の株式分割を調整済み（7月31日＝11,100円換算）。銘柄ごとの数字は次のページ。

データ編

銘柄ごとの終値と騰落率

銘柄（コード）	7月31日	11月9日	騰落率
外食・海外で稼ぐ型			
サイゼリヤ（7581）	7,880	8,660	+9.9%
FOOD & LIFE COMPANIES（3563）	5,559	5,621	+1.1%
良品計画（7453）	4,177	4,969	+19.0%
外食・国内／立て直し型			
吉野家HD（9861）	3,843	4,684	+21.9%
すかいらーくHD（3197）	3,141	3,752	+19.5%
トリドールHD（3397）	4,345	4,983	+14.7%
外食・モス型			
モスフードサービス（8153）	3,855	4,490	+16.5%
物語コーポレーション（3097）	5,480	6,330	+15.5%
壱番屋（7630）※非公開化を検討中	934	1,057	+13.2%
力の源HD（3561）	1,645	1,495	-9.1%
アパレル・百貨店			
ファーストリテイリング（9983）	78,190	80,810	+3.4%
エイチ・ツー・オー リテイリング（8242）	2,863.5	2,806.5	-2.0%
家電量販			
ヤマダHD（9831）	713.1	736.6	+3.3%
ビックカメラ（3048）	1,744	1,829	+4.9%
エディオン（2730）	2,422	2,536	+4.7%
ケーズHD（8282）	1,886.5	1,786	-5.3%
Joshin（8173）	3,945	4,270	+8.2%

単位は円。Yahoo!ファイナンスの時系列の終値。

読み方の注意　起点の日付で結論が変わります



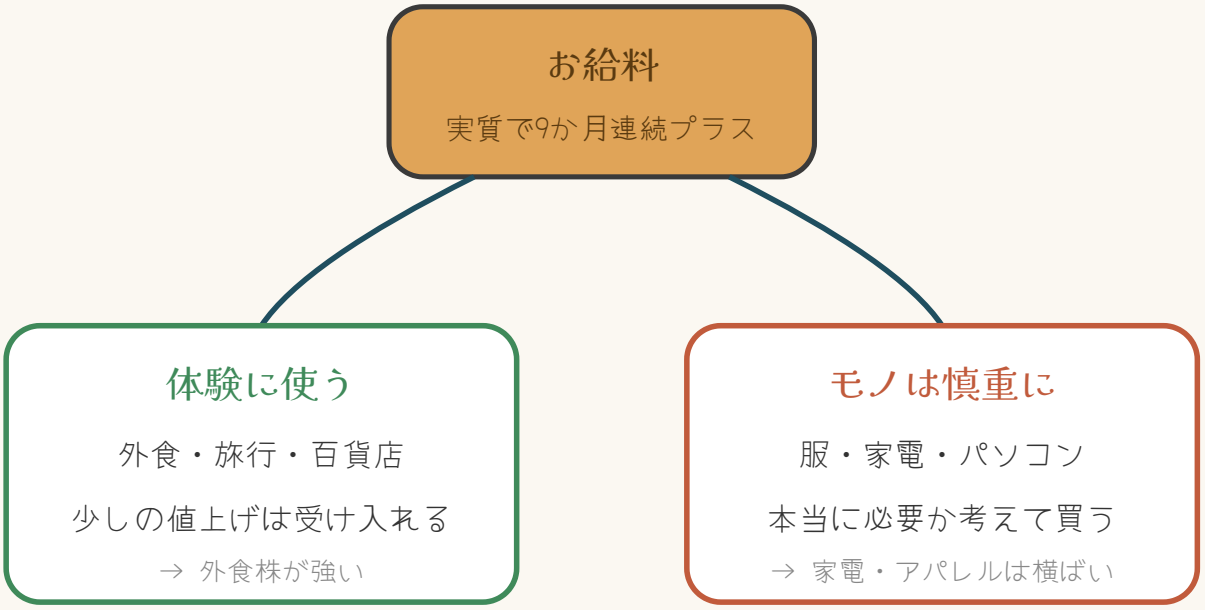
業績が良くても上がるとは限りません（F&LC・ユニクロ）

株価だけでは「資金が移った」とまでは言えません

自分ごとにすると

あなたのお財布から見る、今日の話

給料が少し増えても、全部に気前よく使うわけではない。
その**使い分け**が、お店の勝ち負けをつくっています。



ただし家計全体の支出はまだマイナス

9月の家計調査は実質6.8%減。勝ち組も
「全部が絶好調」の中で勝っているわけではない

まとめ

持ち帰る3つのこと

1

体験かモノか

外食・百貨店が強く、服と家電が弱い。お給料の使い分けが勝ち負けを分ける

2

供給網を握るか

サイゼリヤとモス、同じアジア展開でも海外の稼ぎ方は正反対

3

市場の評価は別の物差し

過去最高益でも、期待に届かなければ株価は下がる

これからの注目

- サイゼリヤの11月の月次（値上げ後、初めての丸1か月）
- 11月19日の機械受注（10〜12月の見通し）

AIの外側でも、身近な数字を追うと
景気の手触りが分かる

本資料は情報提供を目的としたもので、特定の銘柄の売買をおすすめするものではありません。